

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点(199か所設置)からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は**29.17人**(先週31.39人)と減少し、警報レベルの開始基準値(定点あたり30人以上)以下となりました。

地域的には、定点あたり81.50人の中播磨保健所管内を最高に、姫路市、伊丹、加古川、加東、朝来及び洲本の7保健所管内が定点あたり30人以上、丹波を除く9保健所管内が定点あたり10人以上となっています。

今年の冬から春にかけて(第1~19週)の通常の季節性インフルエンザ流行時、全国的に新型インフルエンザが流行してきた第32~42週、最近6週間(第43~48週)の3期に分けて患者の年齢分布をグラフに示しました。今回の新型インフルエンザでは、5歳未満と20歳以上の割合が少なく、5歳から19歳までの患者が多いことがわかります。最近6週間の年齢分布では、10~14歳の割合が減少し10歳未満の割合が増加して低年齢化の傾向がみられます。さらに第43~48週の週別年齢分布をみると、第47週までは10~14歳の割合が減少し周辺年齢層の割合が増加を続けていましたが、第48週では5~9歳の割合も減少に転じています。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は、休校17校(先週14校)、学年閉鎖113校(同140校)及び学級閉鎖334校(同373校)の合計464校(同527校)で、休校は増加しましたが、学年閉鎖と学級閉は減少しました。社会福祉施設等でのインフルエンザ集団発生状況は41施設(先週は36施設)と増加しました。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html>

都道府県別では兵庫県を含む全47都道府県に警報レベルの保健所があります。

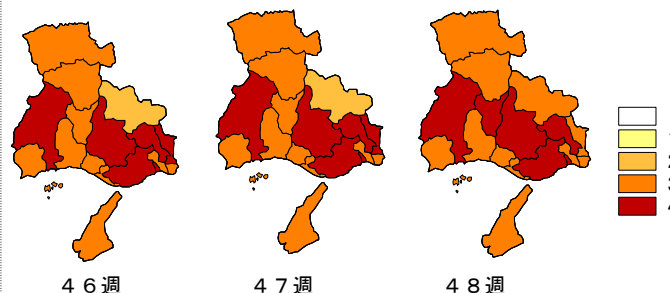
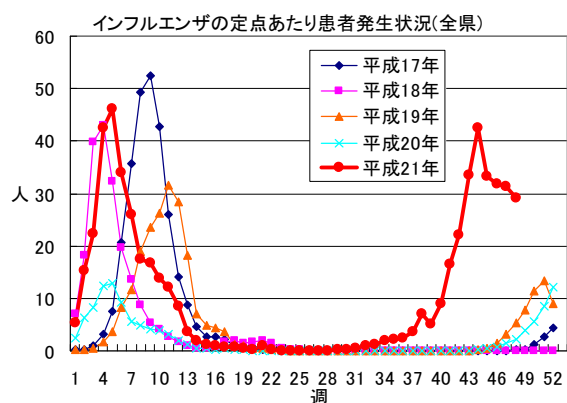
新型インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html>

(兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

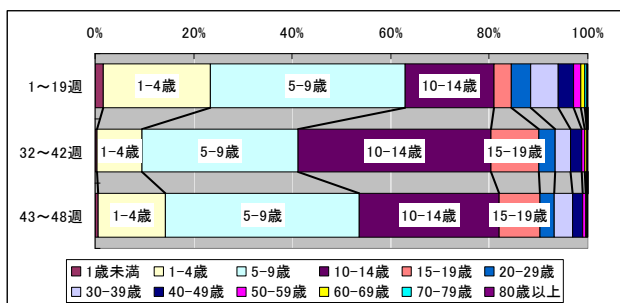
<http://web.qq.pref.hyogo.lg.jp/hyogo/ap/qq/men/pwtpmenult01.aspx> (兵庫県医療機関情報システム)

#### インフルエンザの定点あたり患者発生状況(全県)

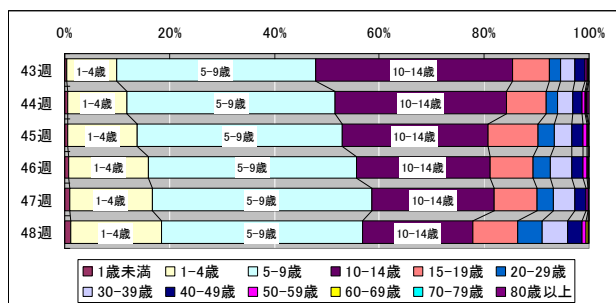


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)

患者の年齢分布（1～19週、32～42週、43～48週）



患者の年齢分布（43～48週）



新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ（HP）でもご覧ください。

- ・厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- ・厚生労働省：新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- ・国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- ・兵庫県のHP：新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

### 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	29.17	31.39	-2.22	6位	RS ウイルス感染症	0.29	0.26	+0.03
2位	感染性胃腸炎	3.29	3.56	-0.27	7位	流行性耳下腺炎	0.23	0.31	-0.08
3位	水痘	0.89	1.05	-0.16	8位	流行性角結膜炎	0.14	0.31	-0.17
4位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.47	0.46	+0.01	9位	手足口病	0.13	0.11	+0.02
5位	突発性発しん	0.38	0.41	-0.03	10位	咽頭結膜熱	0.09	0.07	+0.02

### 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 18名</b> （神戸市 7名、尼崎市 1名、姫路市 1名、西宮市 1名、伊丹保健所管内 1名、明石保健所管内 2名、加古川保健所管内 1名、加東保健所管内 2名、赤穂保健所管内 1名、豊岡保健所管内 1名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 2名</b> （尼崎市；O157 VT1+VT2+ 1名、O157 VT1+ 1名）
4 類感染症	<b>レジオネラ症 3名</b> （伊丹保健所管内 1名、加古川保健所管内 1名、朝来保健所管内 1名）
5 類感染症	<b>アメーバ赤痢 1名</b> （姫路市）、 <b>ウイルス性肝炎 1名</b> （明石保健所管内；B型）、 <b>後天性免疫不全症候群 1名</b> （無症候性キャリア）、 <b>麻しん 1名</b> （姫路市）
追加報告	<b>結核 30名</b> （尼崎市 2名、姫路市 1名、西宮市 4名、加古川保健所管内 3名、加東保健所管内 19名、中播磨保健所管内 1名）、 <b>レジオネラ症 1名</b> （加東保健所管内）、 <b>アメーバ赤痢 2名</b> （神戸市 1名、伊丹保健所管内 1名）、 <b>急性脳炎 1名</b> （加古川保健所管内；新型インフルエンザ）、 <b>風しん 1名</b> （龍野保健所管内）

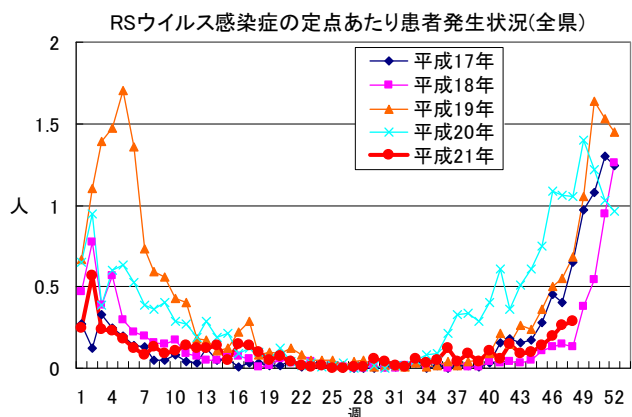
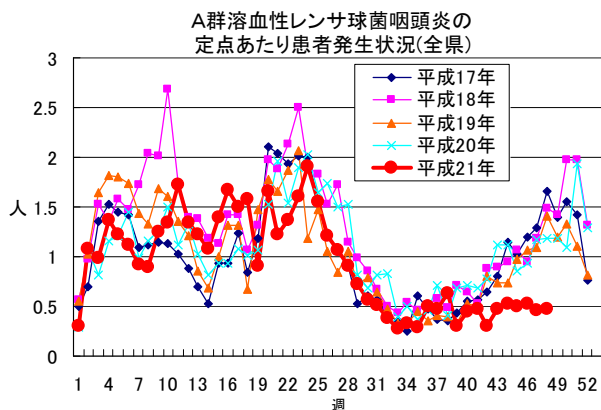
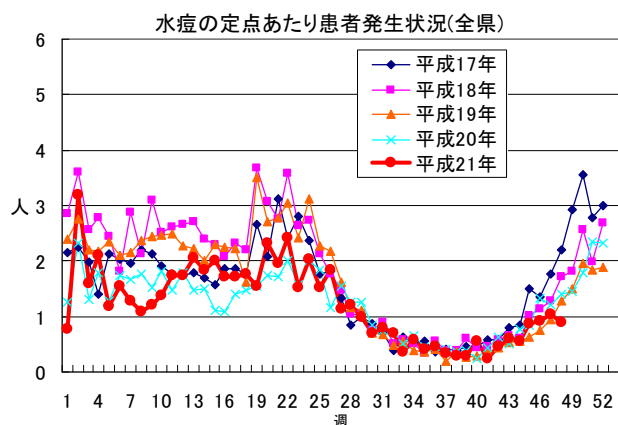
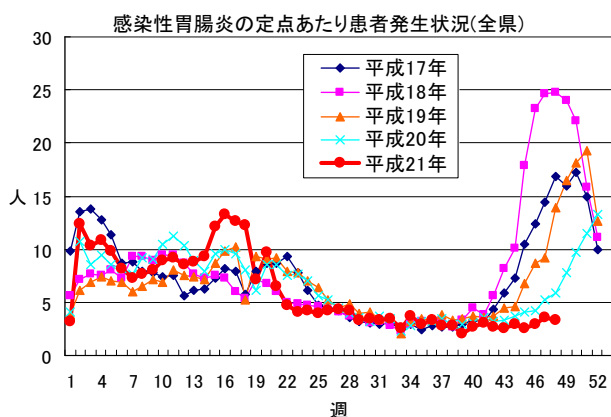
## 検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

尼崎市内の医療機関を受診した**熱性けいれん患者1名**（1歳）、**けいれん患者1名**（1歳）及び**ウイルス性発疹症患者1名**（1歳）の、いずれも咽頭ぬぐい液から**ヒトヘルペスウイルス6型**が検出されました。これとは別の**熱性けいれん患者1名**（1歳）の咽頭ぬぐい液及び鼻腔ぬぐい液から**ヒトヘルペスウイルス6型**が検出されました。

また、**気管支炎患者2名**（いずれも1歳）の鼻腔ぬぐい液、**肺炎患者1名**（0歳）の咽頭ぬぐい液、**ウイルス感染疑い患者1名**（1歳）の鼻腔ぬぐい液、**RSウイルス感染症患者1名**（1歳）の咽頭ぬぐい液、**上気道炎患者1名**（2歳）の咽頭ぬぐい液から**RSウイルス**が検出されました。

さらに、**ウイルス性肺炎患者1名**（2歳）の鼻腔ぬぐい液から**ヒトメタニューモウイルス**が検出されました。

## 目で見える動向（県内）



感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は例年の同時期としては患者数が少なく推移しています。水痘とRSウイルス感染症の患者数は増加し始めています。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。